



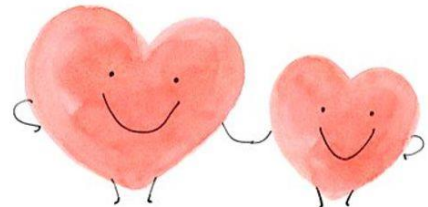
## 二人の時間

金太郎

コロナ禍で妹が続けて入社した3日目の夕方 キレた母親  
「あなたは我が強く人のいうこと聞かない そんなことでは誰からも愛されない」  
毎日のようにいう  
『ええ1人になったら着替えも化粧もヘルパーさん』と私  
「あなたが出たら私あなたが来られないところに」と母  
日々同じやりとりに疲れた私

『私だってみんなが嫌いなら寂しい思いして出ない』珍しく本音を吐いた私  
母も私も泣いていた  
妹がいたらこうはならない  
お互い寂しい

普段はオブラートに包んで  
大地にこびりついた雪を少一しずつ溶かす



自室にいと  
「9時まで会議でしょ」と焼いた餅を届けてくれた

もう大丈夫！  
今はお互いしんどく大変でも  
お互いの存在が大切だから  
少一しずつ進んで行こうね